## 七里ガ浜ホームの6月は「夏越の祓(なごしのはらえ)」をイベントに取り入れました!

「夏越の祓とは、一年の折返しにあたる6月30日に各地の神社で行われる季節の行事です。1月~6月までの半年分の穢れを落とし、残りの半年の無病息災を祈願します。夏越の祓では、「茅の輪くぐり(ちのわくぐり)」との特徴的な行事が行われます。

「茅の輪くぐり」とは、神社の境内に立てられた

直径数メートルほどの大きな輪をくぐります。

輪は茅(ちがや)という草で作られており、これをくぐって身を清めます。



今年の七里ガ浜ホームでは、コロナ禍という事もあり、疫病退散!無病息災!を願って、 職員が夏越の祓の「茅の輪くぐり」にちなみ、大きな輪を作成。 ご利用者の皆様に、くぐっていただきました。 参加された方々、とても嬉しそうでした。





又、この日、6月30日のお食事は、夏越の祓での行事食と言われる

## 「夏越ごはん」でした。

「夏越ごはん」とは、雑穀米の上にかき揚げをのせ、おろしだれをかけた丼料理。

丸いかき揚げは、茅の輪をイメージしているそうです。

デザートには「水無月」という和菓子をご用意しました。 これは、京都の伝統的な和菓子で、ういろうの上に邪気を祓う小豆がのった三角形のお菓子で、 三角形は削りたての氷を表しています。



これから始まる暑い夏に、季節感たっぷりのごはんメニューで、蒸し暑いこの時期に元気が出そうな行事食でした。夏越の祓いに、コロナの邪気を払う小豆と夏越ごはんを食べて、一年の後半を元気に過ごせますように、無病息災を、みんなでお祈りしました。